

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	541	△4.7	△70	—	△70	—	△57	—
25年3月期第1四半期	567	△45.8	△90	—	△88	—	△116	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.15	—
25年3月期第1四半期	△8.41	—

(注)1 当社は、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失を算定しております。

2 平成25年3月期第1四半期及び平成26年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,401	2,013	83.7
25年3月期	2,459	2,070	84.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,010百万円 25年3月期 2,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

業績を考慮した剰余金の配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成26年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定した時点で速やかに開示いたします。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,167	△1.3	△143	—	△144	—	△139	—	△10.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	13,927,400 株	25年3月期	13,927,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	127,200 株	25年3月期	127,200 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	13,800,200 株	25年3月期1Q	13,800,200 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成25年3月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な容認により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年7月24日(水)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成26年3月期第1四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、円安に伴う輸出環境の改善や金融政策等の各種政策の効果を背景に企業収益が改善をみせ、個人消費に加え、民間設備投資も動意をみせるなど自律回復力が増しつつあります。

オンラインゲーム業界におきましては、成長率自体は鈍化しているものの、各種プラットフォーム（パソコン・スマートフォン・タブレット・フィーチャーフォン・SNS）全体での市場が拡大基調が続いております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境は、パソコンの出荷台数が前年割れする一方で、タブレット端末は利用拡大により出荷台数を前年より大きく伸ばしております。

このような環境のもと、前事業年度中に当社サーバーへの不正アクセス事案への対応を終結させ、信用回復を図ってまいりましたが、その影響は大きく、当第1四半期におきましても、事案発生以前の水準までに回復することはできませんでした。また、オンラインゲーム事業では、当初見込んでいた規模の営業収益を確保できなかった複数のタイトルがありました。経費につきましては、人件費を含めた固定費削減への取り組みを継続しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の営業収益は5億41百万円（前年同期比4.7%減）、営業損失は70百万円（前年同期は90百万円の営業損失）、経常損失は70百万円（前年同期は88百万円の経常損失）、四半期純損失57百万円（前年同期は1億16百万円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

（単位：千円、%）

	第26期第1四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	396,921	△8.5	73.4
ソフトウェア販売事業	113,313	12.2	20.9
サイト広告販売事業	30,924	△5.1	5.7
その他	—	—	0.0
合計	541,159	△4.7	100.0

オンラインゲーム事業

当第1四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、3億96百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

主力である従来型のオンラインゲーム（パソコンにダウンロードするもの）は、前期から継続している9タイトルから平成25年6月に「Knights of Kingdom」のサービスを終了しましたが、平成25年4月に「ごごしょくマスター」の正式サービスを開始し、当第1四半期累計期間末時点では9タイトルの運営となっております。ブラウザゲーム（パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）は、平成25年4月に「戦国セブン」のサービスを終了したことにより、当第1四半期累計期間末時点では7タイトルの運営となっております。

また、平成25年6月よりiOS向けゲームアプリ（iPhone、iPadで遊べるゲーム）の「アルカナ・マジア」の配信を開始いたしました。

ソフトウェア販売事業

当第1四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、1億13百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては根強い需要がありますが、個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の減少傾向が続いております。

サイト広告販売事業

当第1四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、30百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

キーワード広告（リスティング広告）については当該事業の約8割強を占め、サイト広告販売事業の基幹となっております。

その他

当第1四半期累計期間における当該販売金額はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ57百万円減少して24億1百万円となりました。主な内訳として、流動資産が19百万円減少して20億67百万円に、また固定資産が38百万円減少して3億33百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が17百万円及び売掛金が12百万円増加したものの、その他に含まれる未収入金が32百万円及び未収還付消費税が21百万円減少したこと等によるものです。

固定資産減少の主な要因は、有形固定資産6百万円、無形固定資産12百万円及び投資有価証券19百万円がそれぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、3億88百万円となり、前事業年度末から大きな動きはありませんでした。

流動負債につきましては、買掛金及び賞与引当金が減少しましたが、その他に含まれる未払金及び未払消費税等が増加し、差し引きした結果、流動負債合計に大きな動きはありませんでした。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加と繰延税金負債を差し引いた結果、固定負債合計に大きな動きはありませんでした。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、57百万円の四半期純損失の計上により、前事業年度末に比べ57百万円減少して20億13百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は83.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

平成26年3月期第2四半期累計期間の業績は、営業収益1,167百万円（前年同四半期期は1,183百万円1.3%減）、営業損失143百万円（前年同四半期期は220百万円の営業損失）、経常損失144百万円（前年同四半期期は216百万円の経常損失）、四半期純損失139百万円（前年同四半期期は263百万円の四半期純損失）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243,527	1,260,610
売掛金	292,966	305,868
有価証券	430,339	430,343
その他	120,084	70,977
流動資産合計	2,086,916	2,067,800
固定資産		
有形固定資産	48,056	41,869
無形固定資産		
ソフトウェア	232,686	218,079
その他	13,949	15,808
無形固定資産合計	246,636	233,888
投資その他の資産	77,649	58,033
固定資産合計	372,342	333,791
資産合計	2,459,258	2,401,591
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,636	122,843
未払法人税等	3,417	1,841
賞与引当金	28,526	17,129
その他	201,704	222,163
流動負債合計	364,284	363,978
固定負債		
退職給付引当金	22,006	23,105
繰延税金負債	2,192	1,278
固定負債合計	24,198	24,384
負債合計	388,483	388,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	△242,175	△299,489
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,064,364	2,007,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,959	3,651
評価・換算差額等合計	3,959	3,651
新株予約権	2,451	2,527
純資産合計	2,070,775	2,013,229
負債純資産合計	2,459,258	2,401,591

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	567,811	541,159
営業費用	658,650	612,038
営業損失(△)	△90,838	△70,879
営業外収益		
受取利息	752	1,270
受取配当金	66	76
為替差益	1,143	—
消費税等差額	—	1,152
その他	278	580
営業外収益合計	2,240	3,081
営業外費用		
為替差損	—	2,254
営業外費用合計	—	2,254
経常損失(△)	△88,597	△70,052
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23,280
特別利益合計	—	23,280
特別損失		
減損損失	4,635	3,413
その他	571	482
特別損失合計	5,207	3,895
税引前四半期純損失(△)	△93,804	△50,667
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	21,700	6,073
法人税等合計	22,273	6,646
四半期純損失(△)	△116,078	△57,314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	433,788	101,015	32,596	567,401	410	567,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	433,788	101,015	32,596	567,401	410	567,811
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△63,922	△19,303	19,228	△63,997	△197	△64,194

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社サーバ管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△63,997
「その他」の区分の損失(△)	△197
全社費用(注)	△26,643
四半期損益計算書の営業損失(△)	△90,838

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて当社が保有する著作権並びに一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、4,635千円であります。

II 当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	396,921	113,313	30,924	541,159	—	541,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	396,921	113,313	30,924	541,159	—	541,159
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△61,778	△11,440	19,998	△53,220	—	△53,220

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△53,220
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△17,658
四半期損益計算書の営業損失 (△)	△70,879

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、3,413千円であります。